

高遠菜穂子さんと考える、持続可能な平和と共生 & 映画「“敵”の子どもたち」上映

下記の通り、人間文化学部国際コミュニケーション学科の学生が中心となって企画運営し、人間文化学部人間文化セミナー、国際コミュニケーション学科学生企画セミナー、キャンパス SDGs プロジェクトの共催で、高遠菜穂子さん（次頁のプロフィール参照）の講演と、映画「“敵”の子どもたち」（次頁の情報参照）の上映会を行います。

ぜひ、学生のみならず地域の方々も共にご参加いただければと考えていますので、催し物欄等での告知をしていただけましたら幸いです。

チラシは別添の通り

高遠菜穂子さんと考える、持続可能な平和と共生 & 映画「“敵”の子どもたち」上映

戦争は人に何を残し、私たちは何を未来へ受け継ぐのか。イラクで 20 年以上にわたり人道支援活動を続ける高遠菜穂子さん（人道支援ワーカー／一般社団法人ピースセルプロジェクト代表理事）による講演、映画上映を通して、PTSD、環境、対話をキーワードに、持続可能な平和と共生について考える 2 日間です。

決して「気軽」ではないテーマですが、戦争について詳しく知らないという方も、まずはぜひご参加ください。映画を観たり、講演を聞いたりしながら、戦争が人の心や暮らし、環境に与える影響について学びます。そのうえで、平和な社会のために私たちにできることを一緒に探してみませんか？

【日時・場所】

■2026 年 10 月 30 日（金） 滋賀県立大学 A2-202

14:50～16:30 ①映画「“敵”の子どもたち」上映

16:40～18:10 ②講演

高遠菜穂子さん「戦争が与える影響 — 人々の体と心に残る傷（トラウマ）」

映画『“敵”の子どもたち』に関する解説を交えながら、テロ・戦争が、人々に与える影響、体と心に与える傷（PTSD）について、実際現地で支援してきたからこそ伝えられること、私たちが知らない現地の状況を学びます。

■2026 年 11 月 1 日（日） 滋賀県立大学 A2-201 ※当日は大学祭（湖風祭）が行われています。

13:00～15:00 ③講演

高遠菜穂子さん「戦争は最大の環境破壊 — 持続可能な平和と共生のために私たちがすべきこと」

戦争は人々の生命や生活を脅かすだけでなく、CO2 の排出や街・自然環境の破壊など、環境にも大きな影響を及ぼします。そこで、イラクの「ピースセルプロジェクト（PCP）」の活動の一環として環境保全の活動にも取り組んでいる高遠菜穂子さんに、エイドワーカーとしてイラクで直接目にした戦争が環境や我々の生活に及ぼす影響について解説してもらいます。

また、PCP が推進する「絵本と演劇で紛争を止める」というアプローチについてもご紹介します。現地では、多様性を認め合い「報復の連鎖」を断ち切るために、独自の絵本製作や移動図書館などの読書キャンペーンを展開しています。紛争はどこにでもあります。紛争地だけでなく、日本にも、学校にも職場にも。そして、紛争解決の対話というのは非常に難しいのが現実です。その対話を可能にするための知的スキル（想像力やエンパシー）を、幼少期から育ていこうというのが「平和の細胞」（ピースセル）の活動の根幹です。戦争によって分断されたイラクで、PCP が奮闘する活動についてお話しいたします。

①のみ、②のみ、③のみの参加も可能です。②と③は異なる内容の講演です。

■2026年10月19日（月）～11月19日（木） 図書情報センター2F 閲覧室

関連書籍等の展示 開館時間はこちらで確認 <https://www.lib.usp.ac.jp/drupal/>

アクセスマップ https://www.usp.ac.jp/campus/acs_map/

キャンパスマップ https://www.usp.ac.jp/campus/cam_map/

【参加】無料 学外の方を含めどなたでも参加できます。

申込フォーム <https://forms.cloud.microsoft/r/uM58Dig3Kv>

当日参加も可能ですが、資料準備等の関係で、事前申込にご協力をお願いします。

【共催】滋賀県立大学人間文化学部（国際コミュニケーション学科）

地域共生センター（キャンパス SDGs プロジェクト）

【連絡先】地域共生センター 谷口 0749-28-9851 chiiki@office.usp.ac.jp

■高遠菜穂子さんプロフィール

人道支援ワーカー／一般社団法人ピースセルプロジェクト代表理事。1970年、北海道生まれ。大学卒業後、会社員を経て地元で飲食店経営に携わる。2000年インドの「マザーテレサの家」、2001年からタイ、カンボジアのエイズホスピスでボランティア活動に専念。2003年5月からイラクでの活動開始。主に病院や避難民への緊急支援、医療支援などを行う。2004年4月にイラク・ファルージャで「自衛隊の撤退」を要求する現地武装勢力に拘束された。解放後、日本国内で「自己責任」バッシングを受ける。現在もイラク人道・医療支援活動を継続中。2019年より難民・国内避難民を多数受け入れているクルド自治区ドホークで教育支援に特化した「ピースセルプロジェクト」を設立。2022年、一般社団法人ピースセルプロジェクト代表理事に就任。「イラク戦争の検証を求めるネットワーク」呼びかけ人、「海外派遣自衛官と家族の健康を考える会」共同代表、「九条の会」世話人。

■ピースセルプロジェクト（Peace Cell Project 略称 PCP）

長く紛争の続いたイラクの子どもたちや若者たちに、平和教育とエコロジー（環境保護）などのプログラムを、日本とイラクの共同で行う団体です。イラク、クルド自治区ドホークを起点とし、移動図書館、絵本・紙芝居製作、学校図書館の設置などの読書キャンペーン、コミュニケーションや演劇のワークショップ、音楽授業、演劇製作などの芸術教育、清掃活動や自然環境保護活動、再生可能エネルギーの推進、地球環境保護の授業といったエコロジー・プログラムを行っています。

公式サイト <https://www.peacecellproject.org/>

■映画『“敵”の子どもたち』

子どもに罪はない。せめて孫だけでも救いたい。

娘がISIS（イスラム国）に参加し死亡。

遺された孫7人を救いたいと命がけの旅に出た男性の真実のヒューマンドラマ。

監督・脚本：ゴルキ・グラセル・ミューラー

プロデューサー：クリストフ・ヘネル、エリカ・マルムグレン

配給：ユナイテッドピープル

2021年 /スウェーデン・デンマーク・カタール/ドキュメンタリー/97分

公式サイト <https://unitedpeople.jp/coe/>（予告編、高遠さんによる解説あり）

【お問い合わせ先】

地域共生センター（担当：谷口）

電話番号：0749-28-9851

メール：chiiki@office.usp.ac.jp

高遠菜穂子さんと考える

@滋賀県立大学

持続可能な平和と共生



10月30日(金) A2-202教室

14:50~16:30

①映画『“敵”の子どもたち』

16:40~18:10

②講演 高遠菜穂子さん

(人道支援ワーカー／一般社団法人ピースセルプロジェクト代表理事)

戦争が与える影響—

人々の体と心に残る傷(トラウマ)



11月1日(日) A2-201教室

13:00~15:00

③講演 高遠菜穂子さん

戦争は最大の環境破壊—

持続可能な平和と共生のために私たちがすべきこと

10月19日(月)-11月19日(木)図書情報センター2F閲覧室にて関連図書展示

全て参加無料／学外者OK／途中入退場OK／当日参加OK

開催場所：滋賀県彦根市八坂町2500滋賀県立大学

【共催】滋賀県立大学人間文化学部（国際コミュニケーション学科）

地域共生センター（キャンパスSDGsプロジェクト）

【連絡先】地域共生センター 谷口 0749-28-9851 chiiki@office.usp.ac.jp

人間文化学部国際コミュニケーション学科の学生が中心となって企画運営し、人間文化学部人間文化セミナー、国際コミュニケーション学科学生企画セミナー、キャンパスSDGsプロジェクトの共催で行われます。

事前申込にご協力下さい





①10月30日(金)14:50~16:30

映画『“敵”の子どもたち』上映

子どもに罪はない。せめて孫だけでも救いたい。

娘がISIS（イスラム国）に参加し死亡。

遺された孫7人を救いたいと命がけの旅に出た男性の

真実のヒューマンドラマ

監督・脚本：ゴルキ・グラセル・ミューラー

プロデューサー：クリストフ・ヘネル、エリカ・マルムグレン

配給：ユナイテッドピープル

2021年 / スウェーデン・デンマーク・カタール / ドキュメンタリー / 97分



映画公式サイト
高遠さん解説あり

②10月30日(金)16:40~18:10 講演 高遠菜穂子さん

「戦争が与える影響—人々の体と心に残る傷（トラウマ）」

映画『“敵”の子どもたち』に関する解説を交えながら、テロ・戦争が、人々に与える影響、体と心に与える傷（PTSD）について、実際現地で支援してきたからこそ伝えられること、ニュースだけでは見えてこない現地の状況について学びます。

③11月1日(日)13:00~15:00 講演 高遠菜穂子さん

「戦争は最大の環境破壊—持続可能な平和と共生のために私たちがすべきこと」

戦争は人々の生命や生活を脅かすだけでなく、CO2の排出や街・自然環境の破壊など、環境にも大きな影響を及ぼします。そこで、イラクの「ピースセルプロジェクト（PCP）」の活動の一環として環境保全の活動にも取り組んでいる高遠菜穂子さんに、エイドワーカーとしてイラクで直接目にした戦争が環境や我々の生活に及ぼす影響について解説してもらいます。

また、PCPが推進する「絵本と演劇で紛争を止める」というアプローチについてもご紹介します。現地では、多様性を認め合い「報復の連鎖」を断ち切るために、独自の絵本製作や移動図書館などの読書キャンペーンを展開しています。紛争はどこにでもあります。紛争地だけでなく、日本にも、学校にも職場にも。そして、紛争解決の対話というのは非常に難しいのが現実です。その対話を可能にするための知的スキル（想像力やエンパシー）を、幼少期から育てていこうというのが「平和の細胞」（ピースセル）の活動の根幹です。戦争によって分断されたイラクで、PCPが奮闘する活動についてお話しいたします。

講師プロフィール 高遠菜穂子さん

人道支援ワーカー／一般社団法人ピースセルプロジェクト代表理事

1970年、北海道生まれ。大学卒業後、会社員を経て地元で飲食店経営に携わる。2000年インドの「マザーテレサの家」、2001年からタイ、カンボジアのエイズホスピスでボランティア活動に専念。2003年5月からイラクでの活動開始。主に病院や避難民への緊急支援、医療支援などを行う。2004年4月にイラク・ファルージャで「自衛隊の撤退」を要求する現地武装勢力に拘束された。解放後、日本国内で「自己責任」バッシングを受ける。現在もイラク人道・医療支援活動を継続中。2019年より難民・国内避難民を多数受け入れているクルド自治区ドホークで教育支援に特化した「ピースセルプロジェクト」を設立。2022年、一般社団法人ピースセルプロジェクト代表理事に就任。「イラク戦争の検証を求めるネットワーク」呼びかけ人、「海外派遣自衛官と家族の健康を考える会」共同代表、「九条の会」世話人。

ピースセルプロジェクト

(Peace Cell Project 略称、PCP)

長く紛争の続いたイラクの子どもたちや若者たちに、平和教育とエコロジー（環境保護）などのプログラムを、日本とイラクの共同で行う団体です。イラク、クルド自治区ドホークを起点とし、移動図書館、絵本・紙芝居製作、学校図書館の設置などの読書キャンペーン、コミュニケーションや演劇のワークショップ、音楽授業、演劇製作などの芸術教育、清掃活動や自然環境保護活動、再生可能エネルギーの推進、地球環境保護の授業といったエコロジー・プログラムを行っています。

公式サイト <https://www.peacecellproject.org/>

